

父と子キャラ弁に挑戦 稲沢



稲沢市食生活改善推進員会に教わりながらキャラ弁作りに励む親子＝稲沢市社会福祉会館で

アニメのキャラクターなどを食材を組み合わせて表現する「キャラクター弁当」（キャラ弁）を作る教室が稲沢市社会福祉会館であり、参加した親子九組がドラえもんなどのアニメのキャラ弁を作った。

子育て中の父親を対象にしたイクメン講座の一環で、市社会福祉協議会が二〇一六年度から開催。参加者は、市食生活改善推進員の奥野節子会長（モロら六人の助言を受けながら作った。

子どもの期待に応えようと、父親たちの表情は真剣そのもの。顔を表現したご

飯の上に、海苔で作ったひげや口元の細かいパーツを菜箸で飾り付けたり、包丁でニンジンを星形に切ったりして盛り付け、約二時間かけて完成させた。

長男丈太郎ちゃん（五）と参加した同市竹腰中町の農業小塚一人さん（三）は、アニメ「ポケットモンスター」に登場するモンスターを横したキャラ弁に挑戦。

一人さんは「工作のようで楽しかった」と充実感をにじませ、丈太郎ちゃんも「うまくできている。おいしい」と声を弾ませ、完食した。（牧野良実）